

事業所における自己評価結果:放デイ(公表)

公表: 2024 年 1 月 30 日

事業所名 けいさぼはうす

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4			基準において広さは十分だが必要時パーティションなどで仕切っている	
	2	職員の配置数は適切であるか	3	1		基準以上の配置である	1対1で対応すると他児の安全性が下がる懸念あり。安全性を確保する
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	3		1	加湿・空気清浄機の設置	必要な設備の整備を検討する
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか		1	3		会議を多く開催していく
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	3	1			保護者の意向を参考にしていく
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4			毎年ホームページにて公開している	結果の公開を継続する
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			4		現在外部評価は依頼していない
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか			4		勉強会の年間スケジュールを策定している
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	1	1	2	計画立案にあたり保護者のニーズを聞いている	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか			4		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか		4			話し合い立案する機会を作っていく
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	2	2			話し合い立案する機会を作っていく
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	1	2	1	長期休暇中の課題決めが人数や障害の種類において困難	各自に合わせた課題を設定していく
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか		1	3		特性に合わせて個別活動を多く取り入れていく
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	2		2	イベントの詳細については朝のうち打ち合わせをしている	朝の会議で全員揃わなくても中断せず続行していく
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4				振り返りは翌朝行っている。全員揃わなくても振り返りを行っていくとともに記録を充実させる
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	3	1		業務日誌に詳細を記録し振り返りに活用している	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか			4		定期的なモニタリングを行っていく
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか		1	3			
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	2	1	1	児童発達支援管理責任者が精通したスタッフから情報収集して参画している	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	1	1	2	送迎時の連絡について学校や職員の差がある	送迎時できるだけ積極的に情報を聞いていく

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	1	2		医ケア児の医療機関と情報共有は保護者を介して行われている	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			4	児童発達支援一放デイに移行する際に各部門と情報共有している	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		1	3	事業所による	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			4		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか			4		機会があれば参画したい
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			4		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか		2	2	保護者のお迎え時に連絡帳や口頭で伝達している	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			4	県や自治体から配布されるチラシや講義(オンライン)などを手渡している	
	保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4			契約時に説明し承諾を得ている
31		保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4			送迎時などに助言している	保護者からの相談には積極的に傾聴し助言していく
32		父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			4		希望があれば検討したい
33		子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4			可能な限り迅速に対応している	
34		定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	3	1		年に3回の会報のほか、行事などのお知らせを配布している	
35		個人情報に十分注意しているか	4			契約時説明し承諾を得ている	
36		障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4			障害に応じたコミュニケーションをとっている	
37		事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			4		
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	2	1	1	各マニュアルを策定している	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4			年2回の訓練を実施している	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	2	1	1	虐待防止委員会及び勉強会を開催	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	4			身体拘束について説明、同意書を頂いている。計画書に記載している	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		2	1		該当者の指示があれば対応していく
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4			共有できている	